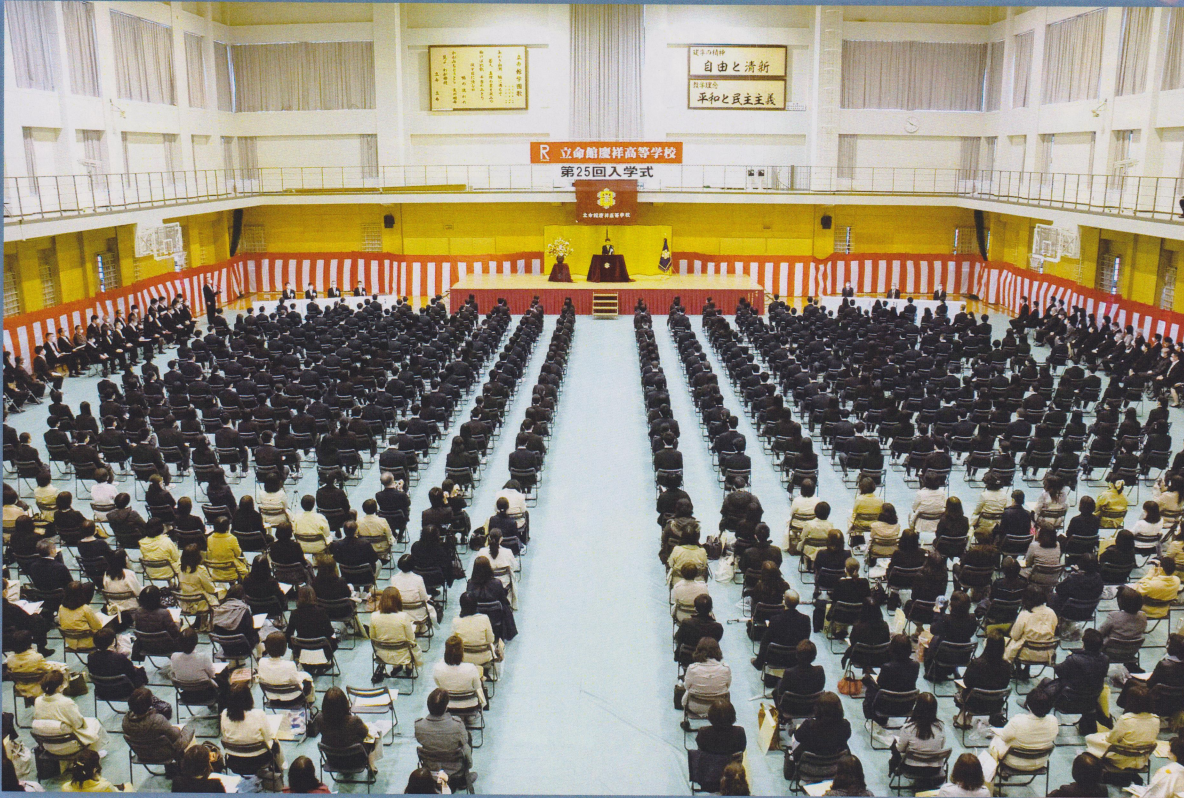


R  
RITSUMEIKAN

# 北の立命館

Vol.32 2021.3.31 [発行]立命館慶祥中学校・高等学校 保護者会/教育振興会 (題字/西脇 終)





立命館慶祥高等学校 第23期卒業生



RITSU  
Congra

on your

ご卒業おめで



R 立命館慶祥高等学校

第26回 卒業証書授与式

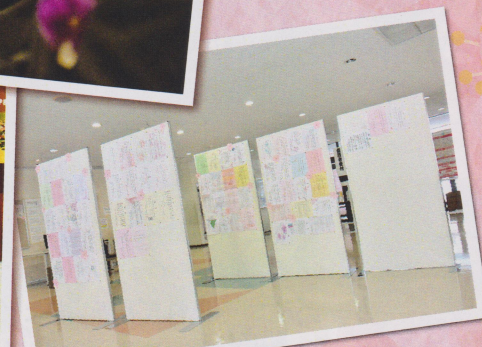
18  
歳  
へ



# 世界に通用する



MEIKAN  
Graduation!  
ありがとうございます



立命館慶祥高等学校 第23期卒業生

## 「世界に通用する18歳」と「With コロナ」

立命館慶祥中学校・高等学校 校長 江川 順一

今年度は、コロナ禍の対応に明け暮れました。4月に入学式と始業式を実施した直後、道や国による緊急事態宣言が発令されて全道の小中高が臨休となり、5月はオンライン授業、6月は分散登校、7月になってようやく通常登校に戻りました。慶祥は今日に至るまで生徒の命と安全を最優先にした万全のコロナ対策を行い、7月以降、休校や分散登校を回避することができました。

この間、中高生徒の学校教育活動は大きく妨げられました。中1の北海道研修、中2の京都研修、中3のNZ研修、高1の宿泊研修、高2の海外研修など、学年単位のすべての研修が中止となりました。NZ研修と海外研修は秋実施の予定でしたが、国内への代替研修を年明けに設定したものの、それまでもが中止を余儀なくされました。加えて、立命祭の学年対応、中学合唱コンクールの中止など、ひとつずつ挙げていくと切ない気持ちになります。生徒も教職員も、延期と計画練り直しの連続にもかかわらず、このことによく耐え、しっかり対応してくれました。校長として心からの感謝と賛辞を呈したい。生徒も教職員も、無念の思いを飲み込んで本当によく頑張ったのです。

生徒は、この状況下で多くのことを学びました。Zoomを用いたSHRや学年集会、スマホやタブレット、パソコンを用いた授業など、怒濤のような新しい体験の連続に柔軟に対応しました。世界中の大きな企業の多くが、ZoomやSkypeを用いた在宅勤務を選択する中、生徒が今回獲得したスキルは、大学はもちろん、実社会ではすでに必須のスキルになっています。

今年度の目まぐるしいコロナを巡る状況は、来年度においても、さらに状況が変わります。ワクチン接種の対象者拡大の一方、変異株の感染拡大により、急テンポで新しい状況が生まれることが予測されます。来年度も、いわゆる「With コロナ」にあって、慶祥が、生徒の命と安全を最優先に据え、慶祥ならではの学校教育活動とどのように折り合いをつけていくかが試されます。慶祥の目指す生徒像である「世界に通用する18歳」を堅持しつつ、コロナ禍に立ち向かいたいと決意を新たにしております。



新型コロナウイルスの世界的なパンデミックのため、さまざまな活動の自粛が求められ、会員相互が顔を合わせる機会を持ってないまま年度末を迎えようとしており、とても残念に思っています。定期総会、サンドイッチパーティー、立命祭お茶席や日本伝統文化体験事業などすべての行事や活動が中止に追込まれました。また、生徒の皆さんの課外活動も大幅に制限され、高体連や高文連での発表や活躍の場を失い、痛恨の念に堪えません。

最近、徐々に新規の感染者数が減少傾向になり、ワクチン接種が開始されましたので、今後は収束に向かうのではないかと期待が高まっています。一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、また、以前のような活動を再開できることを切に願っています。

教育振興会会長 小笠原 正浩



皆さまご承知のとおり、サンドイッチパーティー、立命祭保護者会バザー、文化バスツアー、私学助成署名活動等々、ほぼすべての活動を中止せざるを得ない1年となりました。

来年度についてもこれまでと全く同じ活動ができるとは思いますが、ClassiやZoomを用いた活動により、少しでも皆さまと一体となった活動ができないか模索しております。

子供たちのために、また、保護者同士の交流のために何ができるかを考え、活動をしていきたいと思っておりますので、引き続き、保護者会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者会会長 佐伯 智也

